

仲間が集う居心地のいい家



Kさん宅は「人が集う楽しい家」をテーマに建てられました。
家事のしやすさも考慮されているので普段の暮らしも快適。
週末は気心の知れた仲間たちとの会話が弾む大らかな住まいです。

■ 大人数のゲストも楽しく過ごせる家を建てる

周辺に豊かな緑が残る住宅地に建つKさん宅は、昨年夏に完成したばかり。Kさん夫妻はとても社交的で、アパート暮らしをしていた頃から来客が多かったと言います。「家族や友人、同僚らを招き、狭い部屋にぎゅうぎゅう詰めになって食事やお酒を楽しんでいました」と奥さま。そんな2人が住まいに求めたのは、自分たちはもちろん、ゲストもからくつろげる場であること。「主人の家族が東京から遊びに来たときや、友人が泊まるときは、アパートだと窮屈だから」と思い切って家を建てることにしました。

Kさん夫妻の家づくりは、土地探しからのスタートでした。奥さまの実家や高速道路へのアクセスに便利な場所にある土地を購入し、設計はインターネットで目にした建築士に依頼。「建築士さんの建築に対する真摯(しんし)さに感銘を受けて、初めてお会いした時に依頼を即決しました」と奥さまは言います。

設計面でこだわったのは、大勢の来客を想定した造りや、看護師の奥さまが夜勤明けもぐっすり眠れるよう防音対策を施した寝室、そして家事のしやすさを重視した間取りなど。「建築士さんのおかげで、自分たちのライフスタイルや価値観を家づくりで反映することができました。アパート暮らしの時は、愛犬が熱中症にならないようエアコンを24時間フル稼働していましたが、留守中でも風が取り込める開口部のおかげで、今は必要ありません」と住み心地は上々の様子です。



■ リビングダイニングは多様に使えるおもてなしの場

苗字の一字をモチーフにしたマークや、赤のラインを外壁にあしらったKさん宅。

内部は、広いLDKと和室、寝室と子ども室からなる3LDKです。玄関からリビングダイニングへ進み、さらにキッチンを経由して洗面室とクロゼット、そしてまた玄関へ、という回遊動線で空間を接続。さらに、水回りの近くに家族分の衣類が収まる大きなクロゼットをつくと、洗濯から収納までの一連の動作を短時間で済ませようしました。また、料理の腕ふるふるとの多いご主人の背丈に合わせてキッチンの高さを調整しており、Kさん夫妻の暮らしに合わせた工夫が随所に凝らされています。

おもてなしの場を兼ねたリビングダイニングには、テラスを隣接したり小上がりの和室を設けたりして、ゲストが思い思いに過ごせる場所をいくつも確保。「和室は特に年配の方に好評。和室の座卓とダイニングテーブルの高さを合わせているので、ぴったりくっつけるとひとつの大きなテーブルのように使えて重宝しています」と奥さまは満足そうです。

リビングダイニングの壁一面に設けられたディスプレイ棚には、夫妻の思い出の写真や雑貨が飾られていて、幸せな暮らしが伝わってきます。「主人の両親はそろそろ沖縄旅行の計画を立て始めているかも」と語ってくれた奥さま。居心地のいい空間に、たくさんの笑顔があふれる日はこれからもずっと続きそうです。

※記事・データの内容は発行から9ヶ月経ったものです

所在地：糸満市
家族構成：夫婦、愛犬1匹
総合設計：有限会社義空間設計工房
構造設計：ケイ・ツー設計
設備設計：株式会社設備計画
敷地面積：233.14㎡(70.5坪)
建築面積：106.19㎡(32.1坪)
延床面積：103.78㎡(31.3坪)
用途地域：未指定
構造：補強コンクリートブロック造
完成時期：2014年8月

